

卓越生理学エデュケーターの認定基準

2023 年 3 月 13 日策定

2026 年 7 月 10 日改定

以下の 7 領域のうち、領域 1 または領域 2 を含む、4 領域以上を満たしていること。

領域 1 自らが研究を推進できる（研究実績）

下記の項目の両者を満たす。

1. これまでに、査読のある雑誌の生理学分野の研究・教育に関わる筆頭著者または責任著者となっている原著もしくは総説が 10 篇以上ある。ただし、Journal of Physiological Sciences (JPS) または Japanese Journal of Physiology (JJP) の論文 1 篇は 2 篇と数える。
2. これまでに、研究代表者として、生理学に関わる科学研究費や財団研究費等の競争的資金を 2 つ以上獲得したことがある。

領域 2 生理学教育の経験が豊富である（教育実績）

下記の項目の両者を満たす。

1. これまでに、教育機関における生理学に関連する講義の実績が通算 100 時間以上ある。
2. これまでに、教育機関における生理学に関連する演習・実習の指導実績が通算 100 時間以上ある。（PBL・TBL 等も含む）

領域 3 生理学者もしくは生理学教育者の育成・指導活動ができる

下記の項目のうち、いずれか 2 つ以上を満たす。

1. 生理学に関連した分野において、大学院生（修士または博士）を学位授与まで導いた指導経験がある（実質の大学院研究の指導も含む）。
2. 国家試験またはそれに準ずる公的試験（生理学分野の問題を含む試験）の問題作成委員の経験がある。
3. 教育活動に対する表彰（ベストティーチャー賞またはそれに準ずる表彰）を受けた経験がある。
4. 生理学に関連する教科書の執筆または翻訳（ISBN のある書籍、分担執筆を含む）の経験がある。

領域 4 日本生理学会の教育活動を活性化できる

下記の項目のうち、いずれか 1 つ以上を満たす。

1. 日本生理学会雑誌等の生理学・生物学系の学術雑誌または医学医療教育に関する学術雑誌に教育関係の論文・記事の執筆の経験がある。
2. 日本生理学会大会の教育プログラム（生理学モデル講義・教育講演）の演者の経験がある。

領域5 日本生理学会・International Union of Physiological Sciences (IUPS)・Federation of Asia and Oceania Physiological Societies (FAOPS)に貢献できる

下記の項目のうち、いずれか2つ以上を満たす。

1. 日本生理学会大会および地方会・IUPS・FAOPSにおいてシンポジウム・特別講演・招待講演など一般口演ではない演者の経験が2回以上ある。
2. 日本生理学会大会および地方会・IUPS・FAOPSにおいて座長の経験が3回以上ある。
3. 日本生理学会大会および地方会・IUPS・FAOPSにおいて受賞の経験がある。
4. 日本生理学会・IUPS・FAOPSにおいて各種委員会の委員の経験がある。
5. JPS または JJP の査読の経験が3回以上ある。

領域6 研究倫理や生命倫理を指導できる

下記の項目のうち、いずれか1つ以上を満たす。

1. 研究倫理に関する学会・研究会・大学等での講演の経験がある。
2. 大学などの機関または学会等の倫理審査委員会の委員の経験がある。
3. 日本生理学会研究倫理委員会の委員の経験がある。

領域7 その他の生理学に関する教育・研究活動等の実績がある

下記の項目のうち、いずれか1つ以上を満たす。

1. 生理学に関するアウトリーチ活動もしくは社会貢献活動の経験がある。
2. 日本生理学会・IUPS・FAOPS 以外の生理学に関連する団体等の受賞の経験がある。